



松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業

大型船による輸送効率化で産業活動を支援

現在 now

将来 future

松山港

岸壁・泊地等整備により
大型船舶の就航に対応

外港地区国際物流ターミナル

泊地(-13m) H28完了予定
岸壁(-13m) H27完了

外港地区背後用地(11ha)の売却状況

平成28年度 供用予定

外貿コンテナ・国際フィーダーコンテナ貨物

松山港のコンテナ取扱個数の推移

年	国際フィーダー	外貿コンテナ	合計
2009	7,152	22,997	30,149
2010	9,602	26,305	35,907
2011	12,699	28,286	40,985
2012	13,092	30,409	43,501
2013	13,406	31,198	44,604
2014	12,874	29,532	42,406

出典：外貿コンテナは港湾統計(年報)、国際フィーダーは四国地方整備局調べ

石炭等のバルク貨物

新居浜港でトラックへ積み替えて輸送

輸送コスト9.5億円/年

大型の石炭船等の就航に対応

輸送コスト3.5億円/年削減

松山港へダイレクト輸入!

輸送コスト6.0億円/年

- 臨港部に化学、繊維、電気機器等の幅広い産業が集積している松山港で、大型船に対応した岸壁・泊地(-13m)等を整備
- 国際物流ターミナルの整備に合わせ、ガントリークレーンを整備(愛媛県)し、近年増加傾向である**国際フィーダーコンテナ貨物***の更なる取り込みを図る
- 他港でトラックへ積み替えて輸送している**石炭のダイレクト輸入が可能**となり、輸送コストが3.5億円/年削減し、**企業の生産性向上**に寄与
- 外港地区背後用地(11ha)への**企業進出も好調**で、今後、**更なる港湾利用・雇用の創出が期待**

松山港背後に立地する代表的な企業

東レ(株)

炭素繊維の世界シェア第1位
(世界シェア約40%)
(ボーイング等の航空機等に使用)

○東レ(株)愛媛工場では炭素繊維を年産7300トン
→2015年3月までに**9300トン**に増強

*国際フィーダーコンテナ貨物: 国際コンテナ戦略港湾等で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出入されるコンテナ取扱貨物。